

令和 8 年度

「運営に関する計画」

大阪市立豊崎本庄小学校

令和 8 年 4 月 1 5 日

大阪市立豊崎本庄小学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価(総括シート)

I 学校運営の中期目標

現状と課題**【安全・安心な教育の推進】**

児童アンケートにおける肯定的な回答をした子どもの割合は以下のとおりである。「学校に行くのは楽しいと思いますか。」→82%、「あいさつをしっかりとっている。」→82%、「ありがとう、ごめんなさいが素直に言える。」→90%であった。それぞれ高い数値を表しているが、「学校に行くのが楽しい」と「あいさつをしっかりとっている」項目はさらに継続的に見ていき、学校へ進んで登校できる児童を増やしていきたいと考える。

いじめについて、今年度も必要に応じて関係諸機関とも連携を取りながら、迅速に対応できるように努めた。いじめに関しては、特別活動などの教育課程の中で、今後も継続して子どもたちの成長を考えた取組を考えて実践していく必要がある。暴力行為等は認知されることはなかった。不登校の子どもについては、学級担任や SSW、生活指導支援員等が対応し登校状況の改善が見られた。今後も教育的な手立てだけでなく、福祉や医療の面から関係諸機関と連携して継続的に取り組んでいく。

「自分には良いところがある」の項目について、肯定的な回答をした子どもの割合は、昨年度の学力経年調査質問紙では79.5%であった。昨年度と同様の結果となった。異学年交流や「いいところみつけ」「ハッピーカード」などの自尊感情を高めるための取組を今後も継続していく。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

児童アンケート「授業はよくわかる。」→92%、「授業中にしっかりと考えることができていく。」→86%だった。目標設定時より数ポイント増加が見られる。子どもが主体となった学びを大切に授業改善を進めるとともに思考の土台となる基礎・基本の定着にも力を入れていく。さらに「学級の友だちとの間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」について、肯定的に回答する子どもの割合は、今年度の学力経年調査においては、80.0%であり、高い結果となった。新たに「対話を通して自らの考えを紡ぎ、根拠をもって表現することができ子どもの育成」を研究主題に据え、研究を進め、今後も子どもの資質・能力の向上のために引き続き取組を進めていく。

「早寝・早起き・朝ご飯」については、健康生活週間などで意識付けを行うとともに、ミマモルメ等を活用し保護者との連携を図った。保護者アンケートにおける「学校は保護者と連携して、基本的な生活習慣の確立した子どもを育てている」に対し、肯定的な回答が87%となり、目標設定時より上昇した状態を維持できている。毎月の健康委員による「キラキラチェック」や、学期ごとの健康生活週間・ノーメディアチャレンジ週間などが保護者にも認知され、協力してもらった結果でもある。ほとんどの子どもが、朝ご飯を食べてきている一方で、高学年の子ども睡眠時間が少ない傾向が見られた。ノーメディアデーチャレンジ週間の取組についても、保護者の理解・協力のもと、メディアとの向き合い方について子どもへの意識付けが定着してきている。一方で、まだメディアに触れる時間を制限できていない子どももいるので、学びの中で ICT 活用や情報リテラシーも含めて、継続して指導していく必要がある。

男子は「上体起こし」が全国よりも1ポイント上回った。また、女子は、全国よりも「上体起こし」が1.8ポイント、「長座体前屈」が1ポイント、「立ち幅とび」が2.2ポイント、「ソフトボール投げ」が0.1ポイント、「体力合計点」が0.3ポイント上回っている。課題であった「体力合計点」が、女子が上回る結果となった。質問項目「運動やスポーツをすることが好きですか」の回答状況は、肯定的な回答を見ると、全国平均が男子93.4%、女子85.8%に対して、本校は男子75.0%で、女子76.9%であった。夢授業などの外部講師を活用するなどして、運動への志向を高めていきたいと考える。

【学びを支える教育環境の充実】

日々の学習において、調べ学習や協働学習に使用したり、デジタルドリルで学習内容の習熟を図ったりするなど、学習者用端末を活用する機会を多く設定することができた。低学年から心の天気の入力が習慣化されている姿も見られた。ICT 担当を中心に ICT 教育を進めている中で、Canva やミライシードなど、すぐに実践で活用できるデジタルツールの研修が開かれたので、日々の授業に役立てることができた。今後は、家庭での活用を考えて、家庭学習での使い方を推進したり、学年に応じた情報モラルを身に付けたりできるよう取組を継続して進める。

実践的な研修や全市公開授業、研究授業後の討議会を通して、自己研鑽に励むことができた。また、メンター研修では、新任教員に向けた様々な内容の研修に取り組むことができたり、G・Tup では、個々の学びたい内容に合わせて活動したりすることもできた。しかし、教職員の働き方の面では、平均時間外勤務時間は全市の平均時間に比べて長い。今後も、児童の学びの質を落とすことがないように最善を尽くし、家庭や地域の理解と協力を得ながら、働き方改革を進めたい。

中期目標

【安全・安心な教育の推進】

- ・令和11年度の小学校学力経年調査・校内調査の「学校に行くのは楽しいと思いますか」の項目について、肯定的に回答する児童の割合を、87%以上にする。
- ・令和11年度の小学校学力経年調査・校内調査の「自分にはよいところがあると思いますか」の項目について、肯定的に答える児童の割合を、88%以上にする。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- ・令和11年度の小学校学力経年調査「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか」に対して、肯定的な「当てはまる」と回答する児童の割合を85%以上にする。
- ・小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を90%以上にする。

【学びを支える教育環境の充実】

- ・令和11年度の小学校学力経年調査における「宿題や連絡帳など、授業以外の場面で学習者用端末をどの程度使用しましたか。」に対して、週3回以上と回答する児童の割合を80%以上にする。
- ・教職員アンケートにおける「校内研修が充実していたと思うか。」に対して肯定的に回答する教職員の割合を90%以上にする。
- ・令和11年度の時間外勤務時間について、教員の1か月あたりの平均時間外勤務時間を月20時間以下とする。。
- ・令和11年度の小学校学力経年調査における「読書は好きですか。」に対して、肯定的に回答する

2 中期目標の達成に向けた年度目標

【安全・安心な教育の推進】

- ・小学校学力経年調査・校内調査の「学校に行くのは楽しいと思いますか」の項目について、肯定的に回答する児童の割合を、84%以上にする。
- ・小学校学力経年調査・校内調査の「自分にはよいところがあると思いますか」の項目について、肯定的に答える児童の割合を、81.5%以上にする。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- ・小学校学力経年調査「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか」に対して、肯定的な「当てはまる」と回答する児童の割合を81%以上にする。
- ・小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を79%以上にする。

【学びを支える教育環境の充実】

- ・小学校学力経年調査における「宿題や連絡帳など、授業以外の場面で学習者用端末をどの程度使用しましたか。」に対して、週3回以上と回答する児童の割合を70%以上にする。
- ・教職員アンケートにおける「校内研修が充実していたと思うか。」に対して肯定的に回答する教職員の割合を80%以上にする。
- ・時間外勤務時間について、教員の1か月あたりの平均時間外勤務時間を月20時間以下とする。
- ・小学校学力経年調査における「読書は好きですか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を70%以上にする。

3 本年度の自己評価結果の総括

【安全・安心な教育の推進】

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

【学びを支える教育環境の充実】

大阪市立豊崎本庄小学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価(目標別シート)

評価基準	A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
	C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
【最重要目標1 安全・安心な教育の推進】 ・小学校学力経年調査・校内調査の「学校に行くのは楽しいと思いますか」の項目について、肯定的に回答する児童の割合を、84%以上にする。 ・小学校学力経年調査・校内調査の「自分にはよいところがあると思いますか」の項目について、肯定的に答える児童の割合を、81.5%以上にする。	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【1 安全・安心な教育環境の実現】 ・ 元気よく、気持ちのよいあいさつができるよう、あいさつ強調週間の取組を活かしたり、学級であいさつの大切さ等にふれたりする。	
指標 ・ 児童アンケート「あいさつをしっかりとっている。」の項目で肯定的意見を80%以上にする。	
取組内容②【2 豊かな心の育成】 ・ 「キャリア教育」を通して、自分に自信を持ったり、自分自身の成長を実感したりすることで、楽しい学校生活を過ごせるようにする。	
指標 ① 各学年で異学年交流を年1回以上実践する。(オータムフェスティバル、秋の遠足を除く) ② 「キャリアパスポート」をもとに、キャリア教育を年1回以上実践する。 ③ 児童アンケートにおける「自分には良いところがある」「係活動・当番活動・委員会活動等で人(友達・他学年)のために働いている」「友達の良いところを1人2つ以上言える」に対して、肯定的な回答をした児童の割合を前年度以上にする。	

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

取組内容①【1 安全・安心な教育環境の実現】 取組内容②【2 豊かな心の育成】
次年度への改善点

大阪市立豊崎本庄小学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価(目標別シート)

評価基準 A: 目標を上回って達成した B: 目標どおりに達成した
C: 取り組んだが目標を達成できなかった D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
【最重要目標2 未来を切り拓く学力・体力の向上】 ・小学校学力経年調査「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか」に対して、肯定的な「当てはまる」と回答する児童の割合を81%以上にする。 ・小学校学力経年調査における「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を79%以上にする。	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【4 誰一人取り残さない学力の向上】 ・主体的、対話的で深い学びの視点からの授業改善に努める。 ・「個別最適な学び」と「協働的な学び」の実現を通して、資質・能力を育む。 指標 ① 児童アンケートにおける「授業中にしっかりと考えることができている」に対して、肯定的な回答の割合を80%以上に維持する。 ② 「昼の学習」で自分の考えを表現できるよう「書く」活動を取り入れたり、計算の反復練習を行ったりすることで、基礎基本の定着を図る。 ③ 「家庭学習」では、自主学習ノートを作成し、主体的に学ぶことを通して資質・能力の育成につなげる。	
取組内容②【5 健やかな体の育成】 ・早寝・早起き・朝ごはんを重点目標とし、健康生活週間・ノーメディアチャレンジデー週間などを学期に1回設けて、家庭への啓発に努める。 ・2学期に「なわとび週間」、3学期に「かけ足週間」、その他たてわり学年や同学年による体育の交流を実施する。 指標 ① 保護者アンケートにおける「学校は保護者と連携して、基本的な生活習慣の確立した子どもを育てている」に対して、肯定的な回答の割合を80%以上に維持する。 ② 児童アンケートにおける「外で元気に遊ぶ」に対して、肯定的な回答をした児童の割合が70%を上回る。 ③ 同一集団における新体力テストの「握力」を12月に再測定し、4月の回数の平均よりも4%向上させる。	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
取組内容①【4 誰一人取り残さない学力の向上】	
取組内容②【5 健やかな体の育成】	
次年度への改善点	

大阪市立豊崎本庄小学校 令和7年度 運営に関する計画・自己評価(目標別シート)

評価基準 A: 目標を上回って達成した B: 目標どおりに達成した
C: 取り組んだが目標を達成できなかった D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
【最重要目標3 学びを支える教育環境の充実】 ・小学校学力経年調査における「宿題や連絡帳など、授業以外の場面で学習者用端末をどの程度使用しましたか。」に対して、週3回以上と回答する児童の割合を70%以上にする。 ・教職員アンケートにおける「校内研修が充実していたと思うか。」に対して肯定的に回答する教職員の割合を80%以上にする。 ・教員の1か月あたりの平均時間外勤務時間を月20時間以下とする。 ・小学校学力経年調査における「読書は好きですか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を70%以上にする。	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【6 教育 DX】 ・心の天気の入力、調べ学習やデジタルドリル、デジタル連絡帳等、日々の学校教育活動において学習者用端末を有効的に活用する。 指標 週3日以上デジタル連絡帳を活用する。	
取組内容②【7 人材の確保・育成としなやかな組織づくり】 ・学力・体力向上委員会(G・Tup!)をはじめとした校内研修を組織し、研修に励む。 指標 教職員アンケートの「校内研修が充実していたと思うか」の項目について、肯定的に回答する教職員の割合を80%以上に維持する。	
取組内容③【7 人材の確保・育成としなやかな組織づくり】 ・学校閉庁日の設定、校務分掌における業務内容の均等化や会議の精選等、職員がゆとりをもって職務に取り組むことができる職場環境の整備を進める。 指標 ・教員の1か月あたりの平均時間外勤務時間を月20時間以下とする。	
取組内容④【8 生涯学習の支援】 ・読み聞かせや朝の読書、図書委員会による図書館開放などを行い、読書の楽しさや、本に、親しんでいく習慣を身に付けさせる。 指標 小学校学力経年調査「読書は好きですか」の項目について、肯定的に回答する児童の割合を、70%以上にする。	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	